Information

TOPPAN

2026 年 11 月 20 日
TOPPAN 株式会社

TOPPAN ホールディングス、日本 IR 協議会「″共感！″IR 賞」に選定

統合レポート等の制作プロセス横断化による、開示の信頼性向上と業務効率化が評価

TOPPAN ホールディングス株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長 COO：大矢 諭、以下 TOPPAN ホールディングス）は、このたび、一般社団法人日本 IR 協議会が選定する「IR 優良企業賞 2026」において、「″共感！″IR 賞」に選定されました。なお、TOPPAN グループが同賞に選定されるのは、今回は初めてとなります。

■ 日本 IR 協議会「″共感！″IR 賞」について

日本 IR 協議会による「IR 優良企業賞」は、IR の趣旨を深く理解し、積極的に取り組み、市場関係者の高い支持を得るなど、優れた成果を挙げた企業を選び表彰することを目的としており、今年で 31 回目を迎えます。その中で TOPPAN ホールディングスが選定された「″共感！″IR 賞」は、「IR 優良企業賞」に応募した企業の視点を投票によって反映させ、積極的な IR 活動を共有し、ベストプラクティスの実現を目指すことを目的としたものです。

今回「IR 優良企業賞 2026」への応募企業 359 社のうち、「″共感！″IR 賞」にエントリーした企業による相互投票の結果、TOPPAN ホールディングスを含む上位 23 社が選定されました。

■ 評価されたポイント（選定理由）

2026 年の同賞のテーマは「IR の効率化を高度化につなげるための取り組み」です。TOPPAN ホールディングスは今回のテーマに対し、「統合レポート」や「有価証券報告書」など、各責任部門が担当している各コーポレートレポートの制作において、社内横断プロジェクトによる情報共有体制を構築しました。基準原稿を活用することで、制作負荷の軽減や、媒体間における記載内容の情報乖離発生の撲滅を実現し、一貫性のある価値創造ストーリーの開示を可能としています。今回、こうした業務負荷軽減や、開示の信頼性向上に結びつけた活動が他の企業から共感を得て、受賞に至りました。

今後も TOPPAN グループは、ステークホルダーの皆様との積極的かつ建設的な対話を通じて、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

＊ 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。
＊ 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上

TOPPAN ホールディングス株式会社 広報本部
E-mail:kouhou@toppan.co.jp